

### グラデュエーション・ポリシー

社会の中核となる人材を育成するために必要な4つの能力を身に付けさせる。

- 情報を正確に読み取って活用したり、論理的に思考し評価したりする能力。
- 様々な事象に好奇心をもち、創造的に価値を見つけたり生み出したりする能力。
- 他者に共感して協働したり対話したりすることで、自分自身を客観視できる能力。
- 広く社会に関心をもち、課題解決のために探究し、責任をもって行動する能力。

### カリキュラム・ポリシー

教育目標の達成に向けて、必要な資質・能力を育成する各教科の見方・考え方を身に付けるために、以下のような教育活動を行う。

#### ○国語科

我が国の言語文化への理解を深め、理解したり表現したりするための必要な語句を身に付け、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにし、実社会における国語による諸活動に必要な資質・能力を育成する。

#### ○地歴・公民科

地理や歴史、社会に関わる課題を把握して、その解決に向けて考察・構想する学びを重視し、現代の諸課題を広く深く探究することで、グローバル化する国際社会に主体的に生きる、平和で民主的な社会の形成者に必要な、公民としての資質・能力を育成する。

#### ○数学科

数学的活動を充実させ、日常生活や社会の事象を数学的に表現・処理したり、数学の事象について分析を行い、問題を解決したりする中で、問題を自立的・協働的に解決することができる資質・能力を育成する。

#### ○理科

自然の事物や現象について、見通しをもって課題や仮説を設定し、観察や実験などを行い、根拠に基づく結論を導き出す過程を通して、事象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

#### ○保健体育科

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。

#### ○芸術科（音楽、美術、書道）

芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する

#### ○外国語（英語科）

言語活動を通して、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことを総合的に扱い、中でも話すこと、書くことを中心とした発信力を強化し、言語活動を行うことを通して、外国語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

#### ○家庭科

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造していく資質・能力を育成する。

#### ○情報科

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画していくための資質・能力を育成する。

#### ○総合的な探究の時間

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。

#### ○特別活動

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決していくための資質・能力を育成する。

### アドミッション・ポリシー

教育目標の実現のために、以下のような生徒を求める。

- 本校の教育目標や教育内容を理解し、本校への入学の意志が明確な生徒を求める。
- 自ら高い進路目標をもち、その実現のために、意欲的に学習などに取り組む生徒を求める。
- 部活動や学校行事、生徒会活動や地域貢献活動などに、積極的に取り組む生徒を求める。
- 基本的な生活習慣と規範意識を身に付け、ルールやマナーを順守する生徒を求める。